



第1表 薬事監視（平成29年度）

事項 業種		許可・届出施設数	立入検査施行施設数	違反発見施設数	違反発見件数												
					無許可無届業	無承認品	不良品	不正表示品	虚偽・誇大広告等	毒劇薬の譲渡等	毒劇薬の貯蔵陳列	処方箋医薬品の譲渡等	制限品目の販売	構造設備の不備	製造販売後安全管理不備	品質管理不備	その他
体外 診断 用医薬品	製造業	0															
	製造販売業	0															
	業務上取扱う施設																
再生 医療製 等品	製造業																
	製造販売業	0															
	販売業	10															
	業務上取扱う施設																
計		5549	1125	51	6	1	0	2	4	0	1	1	0	8	0	2	57

(2) 医薬品等の収去検査状況

厚生労働省からの指定品目について、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の規定に基づく収去を行った。結果は第2表のとおりである。

第2表 収去検査結果（平成29年度）

検査所 種類	国立医薬品食品衛生研究所			奈良県薬事研究センター		
	収去品目	検体数 (項目数)	不適数	収去品目	検体数 (項目数)	不適数
医薬品	国指定品目	2 (1)	0	県指定品目	4 (1)	0
化粧品	国指定品目	0	—	—	—	—

(3) 危険医薬品等検査状況

厚生労働省からの指定品目について、買上調査を実施した。検査機関において有害成分等の検査を行った結果は、第3表のとおりである。

第3表 買上調査結果（平成29年度）

対象製品群	検査項目	検体数	不適数	検査機関
強壯用健康食品	リドカイン等 (国買上)	2	0	国立医薬品食品衛生研究所

## 7. 毒物劇物監視

### (1) 監視状況

毒物及び劇物取締法に基づき毒物劇物の製造業、輸入業及び販売業等に対して立入検査等を行った結果は、表のとおりである。

表 毒物劇物監視（平成29年度）

業 種		登録・届出・許可施設数	立入検査実施施設数	違反発見施設数	毒物劇物又は政令で定める毒物劇物含有物の疑いのあるものの除去	試験の結果毒物劇物又は政令で定める毒物劇物含有物であったもの	無登録・無届・無許可施設発見数
製造業	大臣登録分						
	知事登録分	11					
輸入業	大臣登録分						
	知事登録分	2					
一般販売業		277	26	1			1
農薬用品目販売業		92	9				
特定品目販売業		5					
電気めっき事業		6					
金属熱処理事業							
毒物劇物運送事業		1					
しろあり防除事業							
法第22条第5項の者							
計		394	35	1	0	0	1
特定毒物研究者		13					

### (2) 毒物及び劇物の盗難・紛失事件及び流出・漏洩事故情報

毒物及び劇物の事件・事故発生情報は、「毒物及び劇物の盗難・紛失事件及び流出・漏洩事故情報の収集について（平成15年1月22日医薬化発第0122001号）」により、今後の毒物及び劇物の事件・事故対策に資するための事件・事故情報の共有化について示されている。

近年県内で発生を確認した状況は、以下のとおりである。

番号	毒物劇物の別と名称等	事件の概要	発生日と事業所等の業態	原因(推定含む)	被害状況
1	劇物 クレゾール 50%	倉庫保管のクレゾール石鹼液ビン(500ml 1本)に荷物が落下してひびが入り、少量漏洩	H15.3.11 業務上取扱者	倉庫での保管不備	なし
2	毒物 硝酸 14.2% フッ酸 4.8%	トラックで運送中、ドラム缶が破裂し、中の液体が半径10mの範囲に飛散	H15.4.18 業務上取扱者	法第16条の運搬基準違反	・ドラム缶が近くの乗用車(無人)の後部を破損 ・付近の人が火傷により軽傷
3	劇物 臭化メチル	倉庫に保管していた臭化メチル製剤の盗難	H19.10.3 業務上取扱者	倉庫での保管不備	なし
4	劇物 水酸化ナトリウム 50%	水酸化ナトリウム製剤製造中に発火し、炎上。消防車からの放水が工場内ピットからあふれ、劇物を含んだ水が一部水路に流出。	H20.7.24 毒物劇物製造業	作業時の安全管理不備	なし

### 8. 麻 薬

(1) 麻薬及び向精神薬・覚せい剤 立入検査状況

区分	対象事業所数	麻薬取締員延べ立入人数	違反事業者数	違反内容														計	処置				
				譲渡・譲受	処方箋の交付	不正所持	廃棄	譲渡証・譲受証	管理簿	帳簿	施用に関する記録	その他	届出		保存		計		始末書・誓約書	その他			
													事故	報告	中	簿					譲渡証・譲受証	簿	
覚せい剤・覚せい剤原料	覚せい剤施用機関	0	0																				
	覚せい剤研究者	5	0																				
	覚せい剤原料取扱者	48	25																				
	覚せい剤原料研究者	50	3																				
	薬局	532	236																				
	病院・一般診療所	1,286	96																				
	飼育動物診療施設	136	1																				
	合計	2,057	361	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	麻薬関係	家庭麻薬製造業者	17	0																			
麻薬卸売業者		12	24	1						1									1	1	1		
麻薬小売業者		467	206	2						1	1								2	2	2		
診療施設		病院	76	70	3						3									3	3	3	
		一般診療所	422	15																			
		歯科診療所	0	0																			
		飼育動物診療施設	78	2																			
		計	576	87	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3
麻薬研究者		64	1																				
大麻栽培者		0	0																				
大麻研究者		4	0																				
合計		1,140	318	6	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	6	
向精神薬	向精神薬製造製剤業者	2	0																				
	向精神薬卸売業者	1	0																				
	免許みなし販売業者	162	24																				
	免許みなし薬局	532	236																				
	病院・一般診療所	1,286	95	1						1									1	1	1		
	飼育動物診療施設	136	1																				
	向精神薬研究施設設置者	18	0																				
合計	2,137	356	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1		

※合計については、各区分毎の数値を計上しております。

(2) 麻薬・覚せい剤取扱者数

麻薬・覚せい剤取扱者数の推移

(平成29年12月31日現在)

業種別		年						
		24	25	26	27	28	29	
麻薬取扱者	家庭麻薬製造業者	19	18	18	18	18	17	
	麻薬卸売業者	10	10	10	10	11	12	
	麻薬小売業者	339	343	419	436	451	467	
	麻薬管理者	147	143	147	156	156	160	
	麻薬施用者	2,508	2,573	2,681	2,750	2,791	2,935	
	麻薬研究者	64	60	59	60	63	64	
	計	3,087	3,147	3,334	3,430	3,490	3,655	
	麻薬診療施設	病院	74	72	73	74	73	76
		一般診療所	424	401	398	402	409	422
		歯科診療所	1	0	0	0	0	0
飼育動物診療施設		89	85	83	81	79	78	
計		588	558	554	557	561	576	
けし・大麻取扱者	けし耕作者	0	0	0	0	0	0	
	けし研究者	0	0	0	0	0	0	
	大麻研究者	4	3	4	4	4	4	
	大麻栽培者	0	0	0	0	0	0	
	計	4	3	4	4	4	4	
覚せい剤取扱者	覚せい剤施用機関	国の指定	0	0	0	0	0	
		県の指定	0	0	0	0	0	
	覚せい剤研究者	5	4	5	5	5	5	
	覚せい剤原料取扱者	52	51	51	50	49	48	
	覚せい剤原料研究者	58	59	56	54	53	50	
	計	115	114	112	109	107	103	

(3) 家庭麻薬製造状況

県内の家庭麻薬製造業者は18社で、原料麻薬(ジヒドロコデインリン酸塩)の消費量及び製造品目数は下表のとおりである。

家庭麻薬製造業者の原料麻薬消費量及び製造品目数推移

年	製造業者数	総合感冒薬		鎮咳去痰薬		合計	
		数量(g)	品目数	数量(g)	品目数	数量(g)	品目数
23	18	265,200	23	34,820	16	300,020	39
24	19	350,920	34	38,410	23	389,330	57
25	18	542,730	37	28,620	24	571,350	61
26	18	501,380	36	31,830	23	533,210	59
27	18	729,820	37	28,930	22	758,750	59
28	18	798,580	41	48,500	20	847,080	61

(4) 麻薬卸売業者の麻薬譲渡状況

県内麻薬卸売業者（12業者）の麻薬診療施設への譲渡数量は、下表のとおりである。

麻薬卸売業者の麻薬譲渡数量

品名	単位	23	24	25	26	27	28	29
		23	24	25	26	27	28	29
あへんチンキ	ml	1,600	1,275	1,450	1,325	2,350	2,350	3,075
アヘンアルカロイド・アトピン注	A	360	350	300	280	350	350	260
弱アヘンアルカロイド・スコボラミン注射液	A		10					0
モルヒネ塩酸塩水和物	g	70	85	85	65	75	75	100
モルヒネ塩酸塩錠	錠	21,680	22,020	23,280	21,760	21,200	21,200	10,080
モルヒネ塩酸塩注(10mg)	A	14,320	20,110	16,470	17,330	14,410	14,410	12,860
モルヒネ塩酸塩注(50mg)	A	2,030	1,875	3,300	1,490	2,375	2,375	1,180
モルヒネ塩酸塩注(200mg)	A	295	215	155	435	310	310	100
プレベノン50mg注射液	本	940	925	550	765	1,570	1,570	635
プレベノン100mg注射液	本	530	150	335	20	20	20	0
コデインリン酸塩散10%	g	13,350	11,250	8,600	7,750	6,400	6,400	4,400
コデインリン酸塩錠	錠	17,000	18,000	18,750	18,550	18,350	18,350	17,100
ジヒドロコデインリン酸塩	g	540	535	310	35	60	60	305
ジヒドロコデインリン酸塩散10%	g					100	100	0
コカイン塩酸塩	g	20	15	10	10	15	15	10
パチジン塩酸塩注(35mg)	A	1,600	2,370	3,220	3,760	4,380	4,380	6,520
パチジン塩酸塩注(50mg)	A	5,740	6,350	6,980	6,770	7,930	7,930	7,220
ベチロルファン注	A	110	50	70	40	80	80	50
レミフェンタニル静注用2mg	A							12,360
フェンタニル注0.1mg	A	88,920	88,460	83,210	83,050	80,620	80,620	74,470
フェンタニル注0.25mg	A	13,270	14,305	12,335	15,090	12,455	12,455	13,685
フェンタニル注0.5mg	A	11,880	16,045	16,620	17,495	19,800	19,800	24,380
MSコンチン錠(10mg)	錠	22,000	18,400	29,500	26,400	28,000	28,000	22,900
MSコンチン錠(30mg)	錠	9,200	5,400	9,100	12,600	7,800	7,800	4,300
MSコンチン錠(60mg)	錠	100	500	1,000	800	100	100	1,100
アンベック坐剤(10mg)	個	6,750	7,050	5,900	5,350	4,250	4,250	4,600
アンベック坐剤(20mg)	個	2,450	2,050	2,800	1,450	1,100	1,100	750
アンベック坐剤(30mg)	個	1,380	360	390	210	30	30	270
オプソ内服液 5mg	包	49,560	45,820	41,940	43,940	41,820	41,820	44,320
オプソ内服液10mg	包	24,540	17,540	23,520	15,260	18,220	18,220	12,920
カディアンカプセル(20mg)	個				50			0
カディアンスティック粒30mg	包	100		50				0
MSツァイロンカプセル10mg	C	880	640	240	1,800	1,520	1,520	800
MSツァイロンカプセル30mg	C	80	40			160	160	0
MSツァイロンカプセル60mg	C		80					0
複方オキシコドン注射液	A		450	320				0
複方オキシコドン・アトピン注	A	500						0
オキシコチン錠 5mg	錠	260,300	223,500	224,300	168,920	143,040	143,040	141,760
オキシコチン錠10mg	錠	21,200	17,800	18,400	32,780	37,220	37,220	31,340
オキシコチン錠20mg	錠	54,900	43,500	51,700	49,540	37,300	37,300	41,120

品名	単位	23	24	25	26	27	28	29
		オキシコチン錠40mg	錠	18,600	16,500	20,100	8,620	11,380
オキシコチンTR錠10mg	錠							100
オキシコドン徐放カプセル5mg	C				36,600	55,480	55,480	67,820
オキシコドン徐放カプセル10mg	C					40	40	1,580
オキシコドン徐放カプセル20mg	C				7,800	8,320	8,320	11,740
オキシコドン徐放カプセル40mg	C				3,000	3,120	3,120	800
オキシコドン徐放錠5mg	錠							3,520
オキシコドン徐放錠20mg	錠							720
オキシコドン錠2.5mg	錠							820
オキシコドン錠5mg	錠							20
モルベス細粒2%(0.5g)	包	13,640	8,120	10,240	8,800	10,800	10,800	13,000
モルベス細粒6%(0.5g)	包	480	1,040	1,880	440	840	840	240
デロテップMTパッチ2.1mg	枚	16,975	13,660	9,985	7,685	6,395	6,395	4,500
デロテップMTパッチ4.2mg	枚	16,940	13,550	10,930	7,855	6,565	6,565	5,155
デロテップMTパッチ8.4mg	枚	3,955	2,840	2,315	1,685	770	770	1,030
デロテップMTパッチ12.6mg	枚	865	820	1,185	870	805	805	590
デロテップMTパッチ16.8mg	枚	1,235	1,045	1,010	540	585	585	690
ビーガード錠20mg	錠	150	500	50	200			0
ビーガード錠30mg	錠	1,064	750	250	250			0
バシーフカプセル 30mg	C	1,350	2,200	900	1,350	400	400	2,150
バシーフカプセル 60mg	C	400	950	1,000	50	250	250	200
バシーフカプセル 120mg	C	120						50
オキノーム散2.5mg(オキノーム散0.5%)	包	49,770	39,930	53,970	50,190	47,100	47,100	60,120
オキノーム散5mg(オキノーム散0.5%)	包	138,360	133,980	143,730	116,850	117,030	117,030	114,840
オキノーム散10mg(オキノーム散0.5%)	包	13,380	5,520	20,340	2,040			0
オキノーム散10mg(オキノーム散1%)	包			2,490	24,270	23,040	23,040	28,860
オキノーム散20mg(オキノーム散2%)	包				1,050	2,910	2,910	2,490
オキファスト注10mg	g		1,900	5,240	5,750	8,060	8,060	15,400
オキファスト注50mg	g		540	3,460	2,455	2,540	2,540	2,750
フェンタニル1日用テープ0.84mg	枚							1,330
フェンタニル1日用テープ1.7mg	枚							938
フェンタニル1日用テープ3.4mg	枚							280
フェンタニル1日用テープ6.7mg	枚							98
フェンタニル3日用テープ2.1mg「HMT」	枚		70	405	385	295	295	240
フェンタニル3日用テープ4.2mg「HMT」	枚		130	760	890	540	540	480
フェンタニル3日用テープ8.4mg	枚			120	115	20	20	20
フェンタニル3日用テープ12.6mg「HMT」	枚		30	85	420	235	235	255
フェンタニル3日用テープ16.8mg	枚			10	20	90	90	0
アルチバ静注用 2mg	A	21,175	23,570	26,905	28,440	28,715	28,715	21,665
アルチバ静注用 5mg	A	3,830	3,655	4,395	4,070	4,005	4,005	4,475
メサペイン錠5mg	錠					600	600	720
メサペイン錠10mg	錠							40
タベンタ錠25mg	錠				200	6,120	6,120	10,760



品名	単位	23	24	25	26	27	28	29
		タベンタ錠50mg	錠				40	120
タベンタ錠100mg	錠				80	4,600	4,600	4,920
ケタラール静注用50mg	V	510	540	965	845	1,115	1,115	1,070
ケタラール静注用200mg	V	1,070	996	932	612	526	526	469
ケタラール筋注用500mg	V	1,545	1,191	1,150	907	865	865	1,191
ケタミン注5%	A	6	5	19	12	21	21	21
ケタミン注10%	A	60	55	70	85	65	65	40
フェントステープ1mg	枚	6,825	12,264	20,993	18,571	24,962	24,962	31,402
フェントステープ2mg	枚	8,141	13,041	20,363	18,956	25,319	25,319	28,812
フェントステープ4mg	枚	1,330	1,736	4,403	4,046	4,389	4,389	4,165
フェントステープ6mg	枚	1,330	1,953	1,743	2,226	1,757	1,757	3,521
フェントステープ8mg	枚	91	210	973	1,515	1,911	1,911	1,673
ワンデュロパッチ0.84mg	枚	5,404	4,788	5,607	5,817	4,165	4,165	4,585
ワンデュロパッチ1.7mg	枚	1,596	5,642	5,446	5,530	3,773	3,773	3,108
ワンデュロパッチ3.4mg	枚	1,309	2,135	1,918	2,079	1,995	1,995	2,079
ワンデュロパッチ5mg	枚	203	1,407	931	1,029	28	28	28
ワンデュロパッチ6.7mg	枚		833	1,407	700	1,827	1,827	161
イーフェンバッカル錠50μg	錠			80	880	2,100	2,100	1,780
イーフェンバッカル錠100μg	錠			20	220	40	40	160
イーフェンバッカル錠200μg	錠			40	60	400	400	1,560
アブストラル舌下錠100μg	錠			40	6,880	11,120	11,120	9,720
アブストラル舌下錠200μg	錠			40	1960	3000	3000	3,760
アブストラル舌下錠400μg	錠				240	120	120	80
ナルサス錠2mg	錠							1,020
ナルサス錠6mg	錠							780
ナルラビド錠1mg	錠							1,260
ナルラビド錠2mg	錠							560

単位 A : アンブル g : グラム C : カプセル V : バイアル

## (5) 平成29年度 奈良県薬物乱用防止啓発活動実施状況

### 1. 不正大麻・けし撲滅運動（平成29年5月1日～平成29年6月30日）

- ポスター・パンフレット等の配布  
不正大麻・けし撲滅運動の県民への周知のため、ポスター等の配布を行った。  
→ 各市町村、医師会、歯科医師会、薬剤師会、各警察署等
- 不正大麻・けしパトロールの実施  
→ 不正大麻・けしの発見、除去のために県内を巡回し、パトロールを行った。

◇不正けし栽培(自生)発見の推移

年 度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
発見件数	8	1	8	5	6	3	2
発見本数	167	9	379	180	587	1119	68

◆平成29年度 発見(件数及び本数)の内訳 <市町村別>

発 見 場 所	天 理 市	香 芝 市	合 計
発 見 件 数	1	1	2
発 見 本 数 <株>	63	5	68

### 2. 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動（平成29年6月20日～平成29年7月19日）

- 街頭キャンペーンの実施  
→ 6・26ヤング街頭キャンペーンとして、平成29年6月17日(土)に近鉄奈良駅行基前広場において実施した。
- ポスター・パンフレット等の配布  
→ 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の県民への周知のために各種の地域団体に対してキャンペーン用のポスター等を配布した。  
各市町村、薬事関係団体、医師会、歯科医師会、薬剤師会、各警察署、各ライオンズクラブ等
- 広報誌等による啓発  
→ 奈良テレビ放送等において6・26ヤング街頭キャンペーン(近鉄奈良駅前行基広場)の様子が放映・掲載される等、マスメディアを通じた啓発を行う事ができた。
- 国連支援募金  
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動と併せて、薬物乱用防止活動を実施している世界のNGOに国連を通じて援助する目的のため、キャンペーン会場において街頭での募金活動を行うとともに、地域団体に対しても同様の募金の協力を求めた。

### 3. 麻薬・覚せい剤乱用防止運動（平成29年10月1日～平成29年11月30日）

- 街頭キャンペーンの実施  
→薬物乱用防止街頭キャンペーンとして、平成29年11月18日(土)に、イオンモール樫原において実施した。  
また、この際、薬物乱用防止に功績のあった方々へ表彰状の贈呈を行った。
- ポスター・パンフレット等の配布  
→麻薬・覚せい剤乱用防止運動の県民への周知のために各種の地域団体に対してキャンペーン用のポスター等を配布した。  
各市町村、薬事関係団体、医師会、歯科医師会、  
薬剤師会、各ライオンズクラブ、民生児童委員連合会等

### 4. 薬物乱用防止指導員活動

- 奈良県薬物乱用防止指導員の委嘱状況  
総数322名  
・民生児童委員：121名  
・学校薬剤師：78名  
・登録販売者：50名  
・保護司：46名  
・ライオンズクラブ：15名  
・少年補導員：12名
- ◆平成29年9月14日(木)上記指導員に対する研修会を実施。  
講師 奈良県警察本部刑事部組織犯罪対策課調査官 梨原 弘靖 氏  
演題 「薬物事犯の現状について」  
講師 片桐地区民生児童委員 村戸 文比古 氏  
演題 「薬物乱用防止指導員業務について」  
講師 奈良県薬剤師会学校薬剤師部会 部会長 田原 宏一 氏  
演題 「薬物乱用防止教育 学校で行う薬物乱用防止教室の注意点」
- 薬物乱用防止指導員を通じての啓発  
・市町村などにおいて実施されている各種の集会・研修会等でパンフレット、リーフレット及び啓発物品等を配布している。  
・薬物乱用防止啓発に関するキャンペーンなどに参加することで県民に対して薬物乱用防止の啓発を行っている。  
・薬物乱用防止指導員が小学校・中学校において薬物乱用防止教室を行って啓発活動を行っている。

### 5. 学校等啓発講演会

◇奈良県立大学（県警合同）	－薬物乱用防止教室－	（平成29年 4月 5日）
◇平群中学校	－薬物乱用防止教室－	（平成29年 7月 3日）
◇生駒郡民生児童委員連合会	－薬物乱用防止教室－	（平成29年 8月25日）
◇西の京高等学校	－薬物乱用防止教室－	（平成29年 9月27日）
◇王寺南中学校	－薬物乱用防止教室－	（平成29年11月20日）
◇平城東中学校	－薬物乱用防止教室－	（平成29年12月18日）
◇三和小学校	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 1月23日）
◇旭ヶ丘小学校	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 1月25日）
◇王寺小学校	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 1月26日）
◇片桐中学校	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 2月13日）
◇広陵中学校	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 2月20日）
◇歯科衛生士専門学校	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 3月14日）

## 6. 薬物相談窓口の設置

県下5保健所(奈良市保健所含む)及び精神保健福祉センター、薬務課での相談窓口において薬物に関する相談を実施。

	来所相談	電話相談	相談(その他)	計
中和保健所	0	0	1	1
郡山保健所	0	1	0	1
吉野保健所	0	0	0	0
内吉野保健所	0	0	0	0
精神保健福祉センター	7	5	0	12
奈良市保健所	0	5	0	5
薬務課	0	1	0	1
合計	7	12	1	20

### ◇相談薬物の内訳(※重複含む)

- ・覚せい剤 : 18件
- ・麻薬 : 0件
- ・大麻 : 0件
- ・有機溶剤 : 0件
- ・危険ドラッグ等 : 2件

### ◆過去相談件数

- ・平成28年度 : 23件
- ・平成27年度 : 28件
- ・平成26年度 : 56件
- ・平成25年度 : 36件
- ・平成24年度 : 35件

## 9. 国有ワクチン（抗毒素）の供給

国有ワクチン（抗毒素）とは、患者発生の予測ができないため需給の見込みが極めて困難であるものや、患者発生頻度は少ないものの国民の保健衛生上欠くことができないものとして、国が備蓄する医薬品のことをいいます。

国有ワクチン（抗毒素）については、緊急時に対応できるよう、厚生労働省が医薬品メーカーから買い上げ、全国9箇所（北海道、宮城、新潟、埼玉、大阪、山口、香川、熊本、沖縄）で備蓄されています。

これらの供給については、昭和26年8月6日付薬発第357号「国有ワクチン供給要領」に基づき、都道府県からの供給申請及び緊急時における医療機関からの供給要請に対して、速やかに供給できるよう対策が取られています。

### 国有ワクチン（抗毒素）の供給体制

